

市道平戸第486号線(別所地区(その2)) 道路整備事業に伴う測量説明会

－ 議 事 要 旨 －

道路局建設部建設課では、市道平戸第486号線のうち、別所町交番付近から別所ⅠC入口付近までの区間について道路拡幅事業に着手しました。平成29年11月から事業区間520mについて現況を把握する測量を行う予定のため、沿道の方々を対象とする測量説明会を開催しました。

1 開催状況

- (1) 日 時：第1回説明会 平成29年10月26日(木) 午後 7時～ 8時30分
第2回説明会 平成29年10月28日(土) 午後 4時～ 5時30分
第3回説明会 平成29年11月 1日(水) 午後 7時～ 8時30分
- (2) 場 所：別所コミュニティハウス(南が丘中学校となり)
- (3) 内 容：事業の概要
測量作業の詳細

2 主な質問応答

- (1) 事業の概要に関すること

Q1 都市計画決定されたのはいつですか。

A1 市道平戸第486号線の都市計画道路名称は汐見台平戸線です。

汐見台平戸線が都市計画決定されたのは昭和32年12月17日です。

なお、本事業は都市計画事業ではなく、道路事業で進めるため、事業名に市道名称を用いています。

Q2 都市計画決定線を変更することはあるのか。

A2 本事業は都市計画事業ではなく道路事業で進めるため、地形や周辺道路の状況を踏まえ事業線を決定していきます。

Q3 家を建てる際に都市計画決定線を確認し、家を後ろにさげて建築している。

事業線を変更されると困る。

A3 設計時に参考にして事業線を決定します。

Q4 計画の道路幅員は11mから15mとあるが、それぞれの場所は決まっているのか。

A4 東側の別所交番から15mで整備を進めていき、事業が完了している西側の別所ⅠC入口付近に11mですりつけていく計画です。(測量説明会資料P5参照)

Q5 西側のY字の交差点や普門院前バス停東側の南高校に向かう交差点に右折車線を作ってほしい。

A5 検討します。

なお、本線だけでなく交差する道路も総合的に判断して設計を進めていきます。

Q6 昔の河川敷で水路に蓋掛けしている所は、道路になったらどうなるのか。

A6 水路を暗渠化した後に道路を整備します。

(2) 測量作業の詳細に関すること

Q1 測量範囲を事業区間の沿道から2画地としているが、2画地の意味を教えてください。

A1 事業区間の市道平戸第486号線面している方を1画地、そして1画地目の奥の方を2画地としています。

この2画地の理由としましては

- ① 今後行う現地測量の成果を、来年度の道路設計の中で使用していくこととなりますが、設計検討を進めるにあたっては、現地の地形や取付道路の勾配を一定程度、あらかじめ確認しておきたいため。
- ② 境界調査測量などで、沿道の皆様の所有する土地の境界を確認、確定する際、隣接する土地の所有者の方にも、立会をお願いする必要があるため。

これらの理由により、2画地を測量の範囲としています。現場の状況などにより、3画地、4画地と範囲を広げることもあります。

Q2 測量はどのような順番で進めるのか。

A2 順番はまだ決めていません。

決まりましたら個別に調整させていただきたいと思っています。

Q3 境界の立会日を土日に変更することは可能か。

A3 境界立会は、基本的に平日を予定しています。ただ、みなさまの予定もあると思いますので、個別に調整させていただければと考えています。

(3) その他

Q1 南土木事務所が事業を進めている市道平戸第486号線（別所地区）の説明会の開催した時期を教えてください。

A1 事業説明会を平成9年1月16日、平成10年7月30日、8月4日の3回開催しました。

Q2 南土木事務所が事業を進めている市道平戸第486号線（別所地区）の残りの工事予定を教えてください。

A2 用地取得が完了した箇所から工事を行っていますが、別所交番付近につきましては平成30年度より工事を進めていきます。

Q3 道路の地中に大口径のガス管（根岸ライン）とφ600の水道管が入っているので、道路工事と占有企業者（東京ガスや水道局など）との連携を密にして、何度も道路を掘返したり、事故などが無いようにしてほしい。

A3 占有企業者と調整します。

本路線は、第二次緊急輸送路に指定されていることから、大規模地震などの災害時に、道路機能を確保するため、東京電力やNTTなどの電柱を地下化する無電柱化も視野に入れています。それには、最終的な埋設の配置計画を見据えて、現在埋まっているガス管や水道管、下水管に一度移動するなどの調整が発生する可能性があります。災害時には本当に安全な道路にしたいと思っています。

3 説明会の様子

10月26日（木）



10月28日（土）



11月1日（水）

